

第4回加茂地区地域振興策等推進会 議事概要

日 時：令和5年11月16日（木） 午後5時30分から午後6時40分

場 所：集落活動センター「加茂の里」

出席者：会長 下川芳樹（佐川町議会議員 加茂地区在住）

副会長 大山端（加茂の里づくり会 会長）

会員 片岡滋（長竹自治会長）、谷本緑（横山自治会代表）、

片岡幸雄（竹ノ倉自治会長）、片岡勝吉（本村西自治会長）、

岡田良実（本村東自治会長）、山本隆夫（弘岡自治会長） （順不同）

事務局 町民課：山本壽史、古谷仁美、岩佐秀幸、辻翔人

建設課：吉野広昭、大原秀平、岩戸悠、山本裕太

教育委員会：廣田春秋

総務課：片岡和子、篠原豊明

まちづくり推進課：岡田秀和

高知県職員

～議事内容～

1 令和5年度地域振興策等の進捗説明について

→事務局より、資料を用いて現状及び変更点等を説明。

新文化拠点（図書館）の整備について、位置の説明及び面積は2,200㎡を予定し

ており、図書館プラス交流機能をもたした施設の整備を進めている旨説明。収蔵

は10万冊可能、駐車場17台分、現在基礎工事を行っており、工事費は7億1,300

万円となっている旨説明。

○質問等特になし

建設課事業分について、別添資料により現状等説明。

○工事の進捗率は？

→当初計画した進捗率を比較し78%発注しているが、委託業務等は工期の延長もあり、若干遅れている箇所もある。ただし、舗装工事は年度前半に発注したため進捗率が上がっているものと思っている。

○地域振興策の予算が残っているようなことを聞いたのですが、要望ができるのか？

→令和11年度まで計画が決まっているが、新しい要望も受けている。ただし、工事の計画と予算上限の兼ね合いから、新しく要望いただいたものを実施できるかどうかは現段階で返事が難しい。ある程度工事が進んできたら予算残額の目途が立つと思うので、そのタイミングで受け付けた要望を精査・判断して実施を検討したい。

町民課より、長竹公民館の建替について、今までの経過及び長竹・竹ノ倉・横山地区の拠点となる公民館の整備を考えている旨説明。

また、若者たちが集まる方策として町営住宅の整備候補地については、以前長竹自治会長から長竹地区に限らず加茂地区全体で考えていただきたいというお話しをいただいていた経過があり改めて検討した結果、弘岡地区で町営住宅及び宅

地分譲を考えている状況を説明。

○今後、長竹地区の方に説明をしていただき、公民館の場所が決まれば、長竹、竹ノ倉、横山も含めて、どのような形の公民館にしていくのか、3地区で考えていくような形での取り組みもお願いしたい。

～その他～

・加茂地区ヘリポートの整備について

→ 令和4年度に専門の知識を有する業者に委託をして適地選定作業を行った結果、加茂地区内で1か所適地が見つかった。適地は現在耕作していない土地であるが、周囲は耕作地であることから、周囲約100mを基準に協力依頼を行ってきた。関係者36人の内35人に接触し協議出来ている。残り1名の方は県外在住であり、意向の確認が出来ていない状況である。概ね協力的な返答をいただいているが、耕作されている方からは、ヘリからの吹き下ろしの風による影響が心配という不安の声をいただいている。

○候補地周辺の耕作者からは、農作物への影響を心配する声を聞いていますがどうでしょうか。

→ 損害賠償的なことも考えており、賠償の仕方を調査している。最終的に全員の同意をいただき進めていく旨説明。

・ J R土佐加茂駅前の整備について

→担当職員が J R四国と今後の方向性について協議している状況を説明。

J R四国からは、土佐加茂駅をいまどうこうするという話はない。また今すぐに何かするという事は決まっていないが、あれば地域振興策に絡めていければと思っている。

○駅を残して欲しいし、駅前周辺の整備をお願いし、話し合いを進めて欲しい。

→今まで以上に利用できるいろいろな提案があれば教えていただきたい。

高知県職員より、県道岩目地西佐川停車場線改良について、昨年度土佐加茂駅付近から本村西地区周辺を 1 工区として工事が完了し、令和 5 年度は 1 工区の終点から佐川方面へ用地買収の協議に着手しており、2 工区のほぼ中間地 360 メートルを重点的に、早期の契約を目指して、現在用地の買収協議を行っているという状況である旨説明。

また国道 33 号岩目地交差点の改良事業については、県道部分の用地交渉準備を行っている状況であり、今年度の末から、来年度にかけて、用地買収を進めていきたい旨説明。